

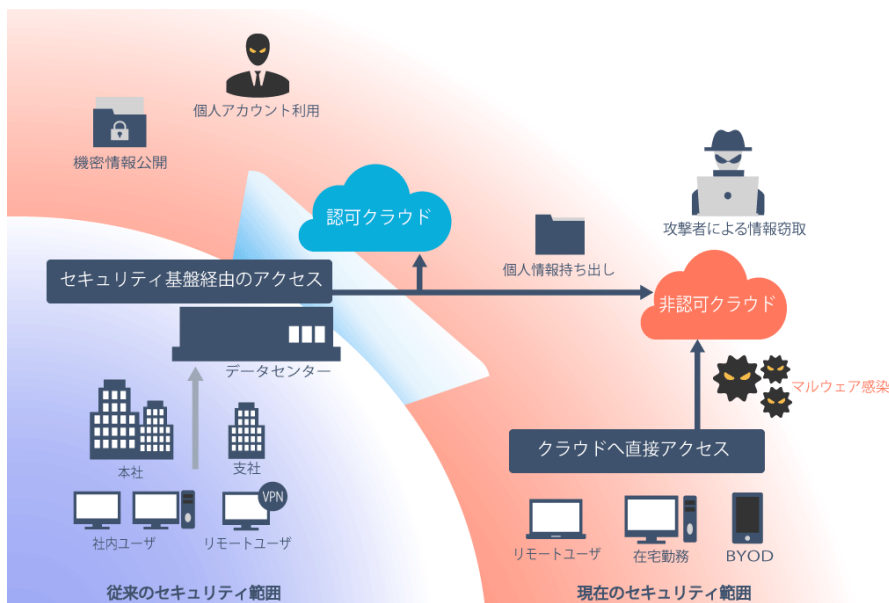
Netskope(クラウドセキュリティ/CASBサービス)

クラウド活用のセキュリティリスク、把握できていますか？

<https://www.kccs.co.jp/secureowl/solution/internal/netskope/>

クラウド活用に潜むさまざまな脅威に対し、求められるセキュリティ対策とは？

近年、働き方改革などを契機に企業ネットワークがオンプレミスとクラウドに分散し、社内で守られていたはずのデータがクラウドへと移行することで新たな脅威が急増しています。個人が無断で認可されていないクラウドサービスを利用するシャドーITはもちろん、認可されたクラウドを個人アカウントで利用し機密情報・個人情報を社外に持ち出すなど、情報漏えいリスクは高まっています。また、クラウドサービスのリスクを評価しないままの利用には、マルウェア感染やクラウド事業者へのサイバー攻撃による情報窃取などの危険も潜んでいます。



Netskopeの概要

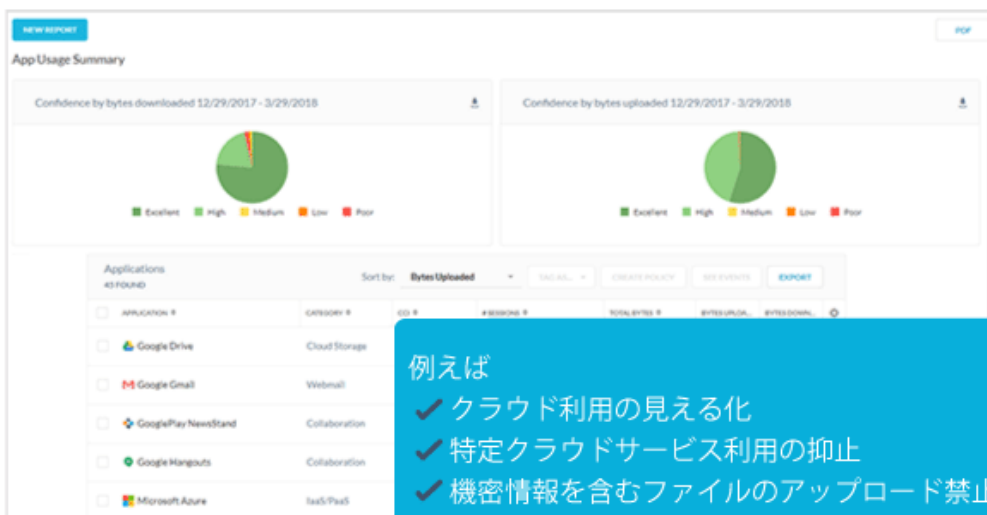


Netskope(ネットスコープ)は、クラウド利用の『可視化・制御・保護』を可能にし、クラウド活用におけるセキュリティ課題を解決します。

可視化

制御

保護



Netskopeの特長

Netskopeは、CASB※（キャスビー）製品です。クラウドサービスの利便性を担保したまま、柔軟な導入オプションで社内外ネットワークの利用状況の可視化・制御・保護することにより、クラウドを安全に活用するためのセキュリティ対策を講じることができます。さらに、エージェントではより細かい情報の可視化およびリアルタイムな制御が可能です。

※CASB(Cloud Access Security Broker)は、ガートナー社が2012年に提唱したものです。企業が利用する複数のクラウドサービスに対して、認証／シングルサインオンやアクセス制御、データ暗号化、ログ取得、マルウェア対策などの一貫したポリシーを提供するサービス／製品です。社員の業務効率と利便性を損なうことなく、自社のセキュリティポリシーを守りながら、クラウドを利用することができます。



可視化 — 利用クラウドサービスを検出し、リスクを評価 —



約30,000種類のクラウドサービスを判別し、利用状況の把握が可能になります。リスク評価基準に基づきクラウドサービスごとの評価が可能となり、業務利用の認められていない非認可クラウドサービスの利用が検出された場合の対策を迅速化できます。

制御 — 企業のポリシーに合わせてクラウドサービスの利用を制御 —



危険なクラウドサービスの利用を抑止するために、ポリシーを設定できます。閲覧やダウンロードなどのアクティビティ単位や、個人アカウントのみ禁止など細かい制御が可能です。利用を禁止するだけでなく、ユーザへ警告メッセージを表示するとともに、利用理由を確認する運用を行うことが可能です。

保護 — 機密情報の情報漏えいを防止 —



添付ファイルやメッセージ本文等のデータ自体を対象としたポリシーを設定することで、機密情報の未認可クラウドサービスへのアップロードなどによる、情報漏えい事故の防止を図ります。ファイルの暗号化や、マルウェアを検出したファイルの削除や隔離をすることも可能です。

無償でご利用いただける評価プログラムをご用意しています。
Netskopeの効果を実際にお確かめください。

構成変更なく容易に評価可能！

お申し込み後、既存のプロキシサーバ（もしくはFW）のログを提供いただくことで社内システムの変更なく評価可能です。
※Netskopeクラウドへのログデータアップロードが必要となります。
※実際にNetskopeをPCIにインストールしての評価が必要な場合は別途ご相談ください。

netskope

無償
評価プログラム
(PoC)

KYOCERA

京セラ コミュニケーションシステム株式会社

KCCSカスタマーサポートセンター

フリーコール 0120-911-901

携帯電話・PHS・IP電話など 050-2018-1827

受付時間 平日9:00 ~ 17:00

(17:00以降のお問い合わせは自動応答になります。)

KCCSホームページ <https://www.kccs.co.jp/>

E-mail: kccs-support@kccs.co.jp